

# 7部

卒業と  
資格・免許状  
取得のために

# 1 // 平成25年度(2014年)3月卒業希望の方へ

## 1 3月卒業対象者について

### ● 3月卒業対象者としての登録について

下記(1)~(3)にあてはまらない方（たとえば10月生で本年8月までの卒業試験を受けていて2014年3月卒業希望という意思表示をしていない方）で、来年3月に卒業を希望する場合は、(1)学籍番号、(2)氏名、(3)2014年3月卒業希望の旨を記載して書面（メール、FAX可）で提出してください。

- (1) 4月生で2014年1月までに卒業試験を受験（予定）か卒業論文を提出（予定）の方
- (2) 10月生で本年9月~2014年1月までに卒業試験を受験（予定）か卒業論文を提出（予定）の方
- (3) 10月生で本年8月までに卒業試験を受けた方で「卒業延期願」を提出し、2014年3月卒業希望と記載のあった方
- (4) (1)~(3)にあてはまる場合でも、本年8~11月に「社会福祉援助技術（現場）実習」（科目等履修生として実習受講希望の方は除く）、「精神保健福祉援助実習」の申込みを行い受理された方は3月卒業対象者とはなりません。

①(1)~(3)にあてはまる方、および②上記にもとづき2014年3月卒業希望という意思表示を行った方で、本年12月までの卒業試験受験者の方には、12/10までの間に、「履修状況票」をお送りさせていただきます。来年3月卒業希望者で12月までの卒業試験を申し込んでおり11/5~12/7に「履修状況票」が届かない方は、通信教育部卒業係まで至急ご連絡をお願いいたします。

### ● 3月卒業の延期について

3月卒業者として登録されているが来年3月に卒業を希望しない方は、前頁(4)に該当する方も含めて、今号巻末の「卒業延期願」を提出してください。ただし、「卒業延期願」を一度提出すると、たとえ卒業要件を満たしていても来年3月に卒業することはできなくなりますので、ご注意ください。

## 2 3月卒業のスケジュールについて

平成25年度（2014年）3月卒業希望者は、『学習の手引き』5章記載のとおり、レポートや科目修了試験・スクーリングなどの提出や受講の期限が定められています。

今年度の場合は、レポート提出（初回＝再提出でないもの）は1/10までとなっています（下に記載の例外を除く）。レポートはギリギリにあわてて提出することのないように、早めの準備を行ってください。なお、卒業希望者の再提出レポートは結果到着後2～3週間程度で再提出してください。再提出レポートの提出期限は2/20です。

今後の卒業のためのスケジュールは下記のとおりです。

11月5日から 12月4日まで	卒業希望者への履修状況票 発送予定（12月までの卒業試験申込者など 発送；12/7までに届かない方は至急ご一報ください） ※履修状況票が届いたら、本籍地・氏名などをご確認いただき、変更ある場合は2月末までにご連絡ください。
12月19日	1月科目修了試験受験のためのレポート提出締切日
1月10日	初回レポート提出締切日
1月11～13日	科目修了試験（初回受験はこの回まで：1月の試験不合格・欠席者は2/22・23の試験も受験可ですが、1月までの試験未申込み科目は2月の試験で受験することはできません）。卒業試験もこの日までに受験が必要です。

2月8日ごろ	履修状況票発送（卒業要件単位修得状況と単位未修得科目の確認、卒業可・不可の検討）
2月20日	再提出レポート提出締切日
3月10日ごろ	卒業決定通知発送 ※この時点で卒業要件を満たしていない方（レポートの再提出が続く方）は卒業式に出席できませんが、3月22日まではレポートの再提出ができ、3/31卒業という道はあります。
3月20日	卒業式（この日をもって、正式に卒業となります。よって「卒業証明書」は3/20以降発行できます（教職免許申請にかかわる「学力に関する証明書」を除く）。

**(その他のご注意)**

●スクーリング受講の特例 『With』94号 p. 60～61参照。

●卒業研究提出期限

社会福祉学科・社会教育学科

12/18 2/1～9ごろ口頭試問予定（1/15ごろ通知）

福祉心理学科

1/31（入試のため当日学生入構不可）口頭試問なし

●8～11月実習申込者

実習の「事前指導・実習・事後指導」受講は同じ学籍番号で履修する必要があります。本年9/15実習申込者は来年3月には卒業できません（科目等履修生出願予定として9/15に実習申込みを行った方を除く）。

●3月卒業予定者で「科目等履修生」として「社会福祉援助技術実習」を受講する方の出願締切

1/31出願締切（1/31までに卒業要件を確定し演習Cを含む指定科目を単位修得することも必要）

実習申込 9/15に済ませていることが必要です

巻末の「再入学予定者 事前申告書」の提出も必要（1/31まで）。

※2014年度募集要項を12月上旬以降取り寄せてください。

※卒業要件は124単位（3年次編入学者62単位）ですので、実習や実習指導の単位を修得しないで卒業するためには、6～7単位分他の科目で修得しないと卒業できません。ご注意ください。

※来年度科目等履修生として学籍変更する方の「社会福祉援助技術実習」費は11万円となります（本冊子p.56参照）。

## 2 社会福祉士 取得希望の方へ

本文中◆＝平成20年度以前入学者 ★■＝平成21年度以降入学者 に関連していることを示しています。

社会福祉士 取得希望の方のメールによるご質問は、uj@tfu-mail.tfu.ac.jp へお願いいたします。

### 1 発送物のご案内

「★■演習B」「◆演習II」スクーリング判定結果通知・受講料納入依頼者  
10月・11月受講許可者には、各判定日後に発送済

「★■演習A」「◆演習I」スクーリング受講許可通知・受講料納入依頼書  
（4月開講分）12月20日発送予定

「★■指導B-3」＋「★■演習C-2」スクーリング受講許可通知  
（11～12月開講分）10月10日発送済

「★■演習C」スクーリング受講料納入依頼書  
（11～12月開講分）10月15日発送済

「◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後)」スクーリング受講許可通知  
（11月～平成26年2月開講分）10月10日発送済

「◆社会福祉援助技術現場実習指導(事前)」スクーリング受講許可通知・  
受講料納入依頼書

(12月22日開講分) 10月25日発送済

「◆社会福祉援助技術現場実習」実習費納入依頼書

(平成26年2月～7月受講者) 10月25日発送済

## 2 「★■演習A」「◆演習Ⅰ」のスクーリング申込み

次回来年4/12・13のスクーリング申込みは、11/30までに受講条件を  
満たした上で、『With』94号巻末の申込用紙を提出してください。

受講条件については、2013年発行の『学習の手引き』をご参照ください。

※「演習A・Ⅰ」の1単位めレポートは、レポート用紙表紙の担当教員  
名は未記入で提出してください。

※今年の10月新入生で3年次編入学者の場合、来年5/31締切の次回申  
込みでも、来年度の実習申込み(および2年間での卒業)は可能です。

## 3 「★■演習B」「◆演習Ⅱ」のスクーリング申込み

平成25年11月開講の「★■演習B」「◆演習Ⅱ」のスクーリングは10/  
15で判定を終了しました。受講条件を満たした方には、「受講許可証」お  
よび「納入依頼書」を10/16に発送しています。

※受講条件を満たせなかった方には、不許可通知をお送りいたしまし  
た。

## 4 平成26年6月第4週開始の「実習」申込みについて

来年度の実習（★■6月第4週～10月第2週、◆6月第4週～12月25日）の申込みは9/15で締め切りました。

※申込受理の判定日は、10/31or11/30or12/20or1/31です。

※申込が受理された方には、各判定日から2週間程度で連絡（封書）します（12/20判定は1/10発送予定）。受理条件を満たせなかった方には、最終判定日（1/31）から2週間程度で連絡（封書）します。

※受理条件は、2013年発行の『学習の手引き』または『実習の手引き 第1分冊 2013年度版』をご参照ください。

※各種締切日後の提出物受理や受理条件の緩和はありません。

※「実習指導A・B」「演習C」のスクーリングは定員制のため、希望（第1・2希望）する日程・会場で受講したい方は、より早い判定日で実習申込受理条件を満たされることをお奨めします。（第2希望が未記入の場合）スクーリング申込内容の不備として通信教育部で日程・会場を指定しますので、予めご了承ください。

※4月生で現在休学中の方が来年度復学が確実で、来年度の実習を希望する場合は11/10までに実習係にご相談ください。

## 5 今年度社会福祉士国家試験受験予定の方へ

国家試験（平成26年1月26日）まで残り3カ月を切りました。まだ実習中の方もいらっしゃると思いますが、各自体調管理に留意され計画的に受験準備を進めてください。受験準備に関することでご不安な点がありましたら通信教育部実習係までお気軽にご相談ください。

## 3 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★：旧カリキュラム（平成23年度以前入学者）

■：新カリキュラム（平成24年度以降入学者）

精神保健福祉士関連メールのアドレス：psw@tfu-mail.tfu.ac.jp

### 1 発送物のご案内

◆★「精神保健福祉援助演習」受講申込受理判定結果通知（9/15精保演習申込者） 9/20および10月中旬以降に発送済み

◆★「精神保健福祉援助実習」受講申込受理判定結果通知（9/15精保実習申込者：10/31第1回受講申込受理判定の合格者） 11/2発送

■「精保実習B（医療機関実習）」受講申込受理判定結果通知（9/15までに申込みのあった受講希望者） 10月末発送済み（9月末から変更）

【H23年度以前入学者・旧カリキュラム】

### 2 ◆★精保演習申込について

平成20年度以前入学者対象『学習の手引き』2002-2008◆版 p.87「●精神保健福祉援助演習」申込条件を下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

申込条件の文中

（誤）①福祉法学

↓

（正）①福祉法学\*

\*平成20年度以前入学者は「福祉心理学」または「福祉社会学」でも可。



### 3 ◆★精保実習（平成26年度7～12月期）申込 について

次年度7/1～12/25の期間の「◆★精保実習」の申込みは9/15で締切りました。10/31, 11/30, 12/20, 1/20（最終）と順次受講判定を行い、受験を満たした方から実習受入内諾依頼調整を行います（『レポート課題集2013(社会福祉編)』p. 243～245参照）。入学年度により『学習の手引き』2002-2008◆版p. 83～, 2009-2011★版p. 98～の「V 精神保健福祉士国家試験受験資格」をご確認ください。

平成23年度以前入学者対象『学習の手引き』2002-2008◆版p. 88, 『学習の手引き』2009-2011★版p. 103, 「●精神保健福祉援助実習」申込受理条件を下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

申込受理条件の文中

(誤) ②-a) 11月末日までに～

↓

(正) ②-a) 10月末日または11月末日までに～

【H24年度以降入学者・新カリキュラム】

(実習受講者)

### 4 ■精保演習A（12月開講）受講希望の方へ

今年度12/13・14または12/22・23に「■精保演習A」の受講を希望される方は、本冊子巻末の「■精保演習A受講希望届」（■精保演習B・実習指導A・■精保演習B（実習免除者用）受講希望届と兼用）に必要事項を記入し11/30必着でお申込みください。「■精保実習A」の受講を同時に申込み方は次項以降の●6参照。

**注意** 受講申込受理判定後の受講許可通知から受講日まで十分な日数がありません。どちらの日程の受講になっても良いように休暇取得等の日

程調整にご留意ください。

開講時間：本冊子4部 p. 35参照。

受講条件：『学習の手引き2013』 p. 86・119・121参照。

## 5 今年度■精保実習A（福祉施設実習） 受講中の方へ

今年度10月～2月の期間に■精保実習Aを受講している方は、今年度2月または3月に開講される■精保演習B-2・実習指導A-2・精保実習A帰校指導・精保実習B選考試験（■精保実習A事後指導）の受講が必要です。本冊子巻末の「■精保演習B・■精保実習指導A受講希望届」（■精保演習A・■精保演習B（実習免除者用）受講希望届と兼用）に必要事項を記入し11/30必着でお申込みください。

## 6 次年度■精保実習A（福祉施設実習） 受講希望の方へ

次年度10/1～2/15の期間に「■精保実習A」の受講を希望する方は、本冊子巻末の「■精保演習A受講希望届」に必要事項を記入し11/30必着でお申込みください。社会福祉援助技術実習を受講済みの方、または同年度受講予定の方は実習時期についても明記してください。

「■精保演習A」の受講を同時に申し込む方は前項●4参照。

## 7 次年度■精保実習B（医療機関実習）の 受講希望の方へ

9/15締切の■精保実習B（医療機関実習）の受講申込みについて、受講申込受理判定結果の通知を10月末発送済みです。

なお、受講申込が受理された場合でも、最終的な受講判定については『With』94号 p. 69に記載のとおりです。

(実習免除者)

## 8 ■精保演習B (実習免除者用) H26 2/1・2の申込み

本冊子巻末の「■精保演習B (実習免除者用) 受講希望届」(■精保演習A・■精保演習B・■精保実習指導A受講希望届と兼用)に必要事項を記入し11/30必着でお申込みください。

なお、平成25年度4月以前に実習免除で入学した3年次生でまだ『平成25年度 精神保健福祉援助演習・実習シラバス「レポート課題集2013(社会福祉編)」別冊』が配付されていない方は、至急精保実習係までご連絡ください。

※■精保演習A、B・C(実習免除者用)の次年度開講予定

日程が変更される場合がありますことを予めご了承ください。

■精保演習A：①6/28・29 ②7/12・13 ③12/13・14

④H27. 1/17・18

■精保演習B(実習免除者用)：H27. 2/7・8

■精保演習C(実習免除者用)：①5/17・18(今年度■精保演習A・  
B受講済者対象)

②H27. 5/16・17

## 9 ◆★今年度「精神保健福祉士国家試験」を受験される方へ

国家試験まで残り3カ月となりました。勉強の仕方等でお悩みの方は、お気軽に本学精保実習係宛で相談ください。9/11付郵送配付のアンケートを未提出の方はご協力をお願いいたします。

電話022-233-2211・FAX022-233-2212・E-mail：psw@tfu-mail.tfu.ac.jp

## 4 教職免許状 取得希望の方へ

教職免許状希望者は、下記以外にも前号の『With』94号 p. 69～70、ならびに『レポート課題集（心理・教職編）』の各実習科目や実習事前事後指導科目欄をよくお読みください。

今年も何名かの方から採用試験2次試験に合格したという嬉しいお知らせをいただいております。

3月末までの教職免許状申請をめざす方は、原則として1月科目修了試験までを受験し単位修得をする必要があります。

### 1 10月生の履修カルテ提出について

高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望で、1年以上在学している10月生の方で「教職実践演習」を受講すべき方には、10/25までに「履修カルテ」を提出いただく必要がありました。希望者で履修カルテをお持ちでない方は、教職免許係までご一報ください。

なお、①特別支援学校教諭免許状希望者や②すでに高校の免許をお持ちの方が福祉科免許状を追加しようとする方は「履修カルテ」の提出は不要です。

### 2 介護実習事前指導スクーリング受講希望者へ

高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者で、来年1/11～13の「介護実習事前事後指導」＋「介護技術」スクーリング（ただし平成22年度以前入学者のカリキュラムで学習している方は「介護実習事前事後指導」のみ）の受講希望者は、12/10までに受講条件を満たした上で、『レポート

課題集2013(心理・教職編)』巻末「介護実習 登録カード」によりお申込みをしてください。

開講時間 本冊子 p. 36どなたも必ず3日間連続で受講すること

受講条件ほか詳細 『レポート課題集2013(心理・教職編)』 p. 157～173

受講料 20,000円 (ただし平成22年度以前入学者のカリキュラムで学習している方で「介護実習事前事後指導」のみとして3日間受講者は10,000円)

### 3 これから「障害者(児)教育実習事前指導」受講予定の方へ

来年度の「障害者(児)教育実習事前指導」は8/2・3と3月下旬の年2回行います。実習前にいずれか1回(連続2日間)の受講が必要となります。この「事前指導」の受講時期により実習開始時期が決まります。

事前指導申込み	事前指導	実習開始時期
H26. 3 / 6	H26. 3 / 29・30	H26. 5月以降
H26. 7月初旬(予定)	H26. 8 / 2・3	H26. 10月以降

- 事前指導約1カ月前の事前指導申込み時に『レポート課題集(心理・教職編)』p. 247～248の条件を満たしていることが必要になります。
- 「はしかの抗体を有する旨の医師の証明書」のコピーも、事前指導約1カ月前の事前指導申込み時に必要となります。早めにご用意ください。

実習依頼にあたって特別な手続きを要する地域(広島県・川西市・神戸市・北九州市・名古屋市など)および仙台市内の7つの特別支援学校(『学習の手引き』3章III3))での26年度実習希望者は至急通信教育部まで書面で大至急お知らせください。なお、東京都の26年度実習の申込みは締め切られています。

また、北海道での26年度実習希望者は、本来7/10で締め切られていま

すが、特例で、追加の申込みを11/10まで受け付けますので、11/10までに教職免許係までご一報ください。お申し出いただいた方に、手続きについてお知らせいたします。なお、札幌近郊では26年度実習は難しいものですし、受講できるかどうかもわかりませんので、その旨ご了承ください。

## 9月卒業生アンケートより

通信教育部を今年9月に卒業された方にご協力いただいたアンケートの中から、紙数が許す範囲でコメントをピックアップしてみました。

皆様の学習のご参考になれば、幸いです。

**問1. 通信教育部での学習は、職場や家庭などの日常生活で役立っていますか。**

- ・現場での見方、考え方が学習をもとにした知識で行えるようになったと思う。根拠のある支援、利用者への接し方が大切だと気付かされ、常に意識するようになった。
- ・福祉の現場で介護職として勤務しているが、福祉全体のこと、制度のことなど広い知識を得ることで、広い視点で利用者を見られるようになった。実習では、他職種の立場から職場を見ることにより、専門職の連携の大切さについて実感できた。
- ・入学してすぐは心理学を勉強しているという実感を持たずにいたが、徐々に専門的な知識と教科を通して、積み重なる知識が増し、気が付くと自らの日常生活の中で活用されていることを知って驚いた。歳とともに、暗記が辛くなってきているが、学習心理学等の勉強によって、今だからできる学習を学び取ることができ、歳を重ねることがすべて悪い意味の老化ではないことを実感できた。エリクソンにおいては悲観的にさえとられる老いだが、前向きに老化をとらえ、死を受け入れるその時まで人生を楽しめたら、と思う。
- ・利用者を支援するときなど、冷静に客観的の視点を持ってとらえることができるようになった。自分の感情や考え方が理論的かどうかを振り返るようになった。

- ・勉強で学んだ心理学の知見が、子育てや家庭生活を送る上で役立っていると思うことが多々ある。
- ・福祉は学生時代に勉強し、興味はあったが、福祉の進化についてゆけない日々であった。学習したことで、具体的に理解できるようになった。

**問2. 通信教育部で得た資格・学んだことを今後どのようにいかしてみたいとお考えですか。**

- ・デイサービスでの相談業務や、将来、地域包括支援センターで地域に暮らす高齢者のために、学んだことを生かしたい。
- ・これから長い人生の中で、多くの利用者に関わりを持ち、より自分自身を向上させていきたい。
- ・ボランティア活動に参加しようと考えている。
- ・認定心理士の資格、学んだことを、現在の仕事に役立てたい。福祉的視点だけではなく、心理学的視点も取り入れて行きたい。
- ・精神障害者が医療を中断したり、精神疾患に対しての偏見により、社会から孤立していたりするなどの問題があるが、地域の中で精神障害者と関って気持ちを傾聴し、ともに行動しながら、いろいろな問題の解決のための支援をしていきたい。また、精神疾患に対する差別や偏見をなくし、地域の中でふつうに暮らしていけるよう、精神疾患に関する啓発活動の関わりもしていきたいと考えている。

**問3. 学習計画の具体的にどのように作成していましたか。**

- ・2年で卒業するために、毎月2～3本のレポートや単位（スクーリング）を消化するぞ、と漠然と決めた。
- ・カレンダーにレポートの締め切りや試験の予定などを記入し、細かい計画を立て進めました。
- ・スクーリングやオンデマンドのスケジュールを見ながら、レポートに取



り組む科目を決めた。

#### 問4. 学習をしていて辛かったことはありましたか。

- ・仕事や家事が忙しく集中してレポートに取り組めなかった。締め切り間際で苦しみながら、レポートを書いた。
- ・レポート課題を十分に理解できず、様々な文献にあたっても自分の言葉でレポートが書けないことがあった。
- ・スクーリングを受講してからレポートをまとめるまでの間をあけてしまい、完成までに時間を要してしまった。
- ・学習時間が子育てで思うようにとれなかった。

#### 問5. 辛かったことをどのように克服しましたか。

- ・集中してレポートを書いた後、その疲れでまったくやる気にならなかったが、「2年で卒業する。」と自分に言い聞かせ、とにかく「遅れてもいいや」を締め出した。
- ・行き詰ったら、スクーリングに参加し、ほかの人からレポートの状況の話を聞いた。レポートができないときは、スクーリングの時に先生方から話を聞き、解決した。
- ・ある程度科目学習をすると、内容がつながり理解し始めた。1科目のレポートも本を5冊ぐらい読むと共通した内容が出てくるので、そこをポイントとして書いた。
- ・とにかく理解できないところは、児童書までさかのぼって理解するようにして、ゆっくりでも納得して進むようにした。
- ・10年かかったが、地道に時間をとり、レポート提出やスクーリングに行くようにした。『With』などの体験談を見て、気持ちを維持するようにした。
- ・レポート課題に合致した内容だけを学習しようとせず、新聞やその他の

内容の文献に目を通すことで、考えてもみななかったことが発見できたりもするので、広く視野をもつべきだと感じました。

**問6. 学習をしていて楽しかった（面白かった）ことは何ですか**

- ・学習を通して、新しい知識を身につけることができたこと。
- ・同じ目標をもつ学友に出会えたこと。そして、自分なりの課題に対して、納得いくまで掘り下げていく作業が楽しかった。課題に対しての解答が正解でなくとも、いろんな角度で考えようとしたこと。
- ・自分の知らない世界観や知識を得るたびにドキドキした。スクーリングの先生の話に引き込まれた。
- ・友人が増えたこと。福祉に関する知識が増えたこと。
- ・現在取り組んでいる傾聴ボランティアの考え方との共通点や、自己の発達の特徴に気づいたこと。

**問7. レポートを書くのに特に苦勞した科目があれば、その科目名とどのような点で苦勞されたのか具体的にお教えてください。**

- ・「公的扶助論」。課題で問われていることの意味はわかっても、教科書の内容を理解し、まとめることが難しかった。新聞やインターネットから、生活保護についての情報を参考にした。
- ・「地域福祉論」や、「福祉行財政と福祉計画」。地域の情報を集めるのに苦勞した。
- ・以前から言われているが、「社会福祉原論」や精神保健福祉の関連科目は、レポートの再提出になった。
- ・「生涯発達心理学」。問題の主旨を間違い、何度も再提出になった。最後の提出で木村先生から、「その通り」との言葉をいただき、感激した。
- ・「心理療法」は難しかったが、勉強になった。たまたま最後のほうでやったが、最初のほうで取り組んでいたら挫折していたかもしれない。

しかし、レポートの書き方は絶対にもっと上達していたと思う。

- ・「歴史を見る眼」と「福祉と生活」で再提出になった。

**問8. 「レポート学習」について在学生へのアドバイスがあればお教えください。**

- ・できればスクーリングに出席したほうがレポートは書きやすい。総単位の半分をまず目標にすると、そこまで達成するとやる気が増すので、なんとか期間がかかっても半分の単位をとるまでは頑張してほしい。レポートをまとめるのも慣れてきて、早くなってくる。
- ・家庭、職場等において、レポートを書くヒントは、様々なところにあると思う。レポートに煮詰まった時は、自分の生活を振り返ってみるのも良いと思う。
- ・ヤル気あるのみ。難しいものであると構えない。行き詰ったら、スクーリングなどで先生に質問する。
- ・書かなければ始まらない。初回のレポート合格でモチベーションが上がり、書くことができた。

**問9. 「学習仲間」とはどのようなことを協力しましたか**

- ・勉強のやり方、進め方を確認しあい、励ましあった。
- ・やる気がないときに仲間に連絡した。仲間がレポートを書いているのを聞くと、自分のやる気にもなった。
- ・大学院の情報や、飛行機、ホテルなどの格安購入方法を教えてもらった。
- ・参考文献についての情報交換。

**問10. 通信教育部での学習を振り返り、スクーリングの内容、レポート学習で学んだ内容で印象に残ったことがあれば自由にお書きください。**

- ・初めは一つのレポートを仕上げるのにもめげそうになったが、苦勞した分達成感もすごかった。テキスト以外にもたくさんの文献に出会い、まさに勉強している、という感覚があった。受けたスクーリングのどの講義も、面白かった。
- ・「社会福祉原論」や特別支援学校教諭免許状関連の科目のスクーリングでは、先生方の強い思いが伝わってきて、とてもためになった。知識だけではなく、信念を持つことができるような先生方の一言が心に残っている。
- ・演習におけるグループディスカッションにより、勉強する姿勢ができた。
- ・「福祉社会学」では、社会の中の自分の存在、自分の生き方を振り返り、生きていく意味を考えることができた。大学で学ぶということの意味を強めたスクーリングだった。
- ・「児童・家庭福祉論」では、児童虐待の問題、虐待する親、虐待される子供のそれぞれの問題を考えさせられた。支援、対策などの個々のレベルではなく、社会全体を含めた考えでの支援をしなければならないと思った。
- ・入学時は卒業できるか不安だったが、初めて提出したレポートが合格したのを見て、自分のやり方は間違っていないことがわかって安心した。

**問11. あなたは東北福祉大学通信教育部で学んで満足できましたか。**

- ・たくさんの仲間に励まされ、目標通り2年で卒業までいけたことが自信になった。ものすごい達成感がある。
- ・興味のある内容を集中して学ぶことができた。良い学友にも恵まれ、若いころ果たせなかった大学卒業が、通信教育という道により実現できたこと。個人的に人間的成長につながったこと。
- ・スクーリングでは各先生方の丁寧で誠実な講義を受けることができ、満

足している。社会生活を送っている間、それまで気にも留めなかった事柄が意味づけられ、考えさせられるものになった。大学で学ぶということがどういうことなのかわかった。また、今の仕事に生かせること、生涯学習という点でも満足できた。

メッセージをお寄せいただいた方に厚く御礼申し上げます。